



❖ what to <動詞>：何を<動詞>したらいいか…。

◇ what <主語> should <動詞>：<主語>が何を<動詞>すべきか…。

He doesn't know <u>what to do</u> .	彼は、何をしたらいいのかを、わからない。
He doesn't know <u>what he should do</u> .	
<u>What to do</u> is a personal decision.	何をしたらいいかは、個人の選択だ。
<u>What you should do</u> is a personal decision.	
The question is <u>what to do about it</u> .	問題は、それについて何をしたらいいか、である。
The question is <u>what you should do about it</u> .	

疑問詞＋不定詞は、助動詞shouldを用いた間接疑問で書き換えることができる。

疑問詞＋不定詞を間接疑問節に書き換える際は、間接疑問節内の主語を何にするかに注意。不定詞句の意味上の主語は、基本、その文の主節の主語と同じになる¹。例えば「He doesn't know what to do。」であれば、動詞knowの動作主体も動詞doの動作主体も同じheである。主語が異なる場合は間接疑問しか用いることができない（例：「He doesn't know what his son should do.」）。

¹ 「for <人>」の形で不定詞句の意味上の主語が明示できる場合は別だが（例：「I paid a lot of money to go to college.」→「I paid a lot of money for my son to go to college.」）、いずれにしろ疑問詞＋不定詞の形では意味上の主語を間に書き加えることはできない。